

詩画集

第IIステージ・春



やまのふえの 村らひと
山上 村人



詩画集 第Ⅱステージ 春

目次

創造主のお人柄	4
男のおしゃれ	6
お地蔵様	8
ムシの命	0
トキワサンザシ	2
名前の呼び方	4
田道門守(たじまもり)	6
満月	8
人には あい	0
早春	2
壺中天	4
好相行	6
思い通り	8
天上天下唯我独尊	0

満開

予知夢

道祖神

モデル
原型

成りたいもの

虚舟で逢いたい方

コミュニケーション

4 4 4 3 3 3 3
4 2 0 8 6 4 2



創造主のお人柄

作ったものを見れば

その方のお人柄が分かるという

同じ料理でも

フトした仕草でも

その通りだと思ふことがある

野の花を見たり

朝日夕日に輝く雲を見ると

作った方の

途方もない美的感覚と

優しさに感動してしまいます

でも、私の嫌いな蛇を作ったり

そのデザインや

小鳥の巣を狙う習性その他

捕食構造の遺伝子への組み込み等

創造主が同一人物であるとは

とても思えない

そして神に似せたという人間も様々だ

私にしてもハイエナやミミズよりマシだが

もう少しマシにはできませんでしたか

貴方の作ったものをずいぶん見てくださいましたが

人間が一番分らない

それ以外にも分らないことばかりだ

巨大なことは分かりますが

不気味でもある

あなたは一人なのですか

複数なのですか

一体 あなたはどのような性格の方なのですか



わし星雲

男のおしゃれ

女性が化粧をする

化粧というものはあるがままの自分を

それ以上に美しく見せたいためである

肌の色を変える化粧品

唇を本物より紅くする口紅

容貌にはまるで自信がない

いずれにせよ

たれか思い煩わすらいて身の丈たけいつやくしやく一尺を加え得んや（マタイ6―27）

だ

その男にもできる化粧がある

目立たない服装

目立たない髪型

自分なりの考え方

関ヶ原の戦いで

死戦を前に兜に香を炊き込めた男がいる

加齡臭かれいしゆうを気にした熟年ではない

木村重成(二二歳)新婚である

権力者にひるまず牢獄ひに牽かれ首を刎はねねられた

荒野のヨハネも強烈な美学である

私にはそのような勇氣はないが

国仙こくせん和尚おしょう死後その後のドラマを思い

身を引き旅に出た良寛にもエールを送りたい

群れがすることをしないこと

群れがしないことをすること

もし多少の善事をするなら

壁に耳あり 障子に目あり

隠れた神というのが

あとから特別報酬をだすというのだ ※

人からの報いは空しいことがある

配当を考えるとこのほうが確実そう



鼻曲がり面

お地藏様

お釈迦様が居なくなつたあとの

この世のお留守番です

この世の悩みは何でも聞きます

病苦の身代わり、冤罪えんざいOK

子宝、育児

厄除やくよけ、延命、災難予知、予防

トゲまで抜きます

道端にいて誰の願いでも聞きます

時には人に縛られたりもします

お供えは小銭か野の花、無くても可

気楽に何でも聞く代わり

すぐお答えはしません

弥勒菩薩みろくぼさつというパワーを持った仏様が来るまでの

聞き役です

それは56億7千万年後です

(5年6ヶ月と7日後ではありません)

赤鬼や青鬼達は大笑いしました

いろいろな仏様がいます

背中から火が噴いていたり

ギョ目で黒々とした仏様もいます

怖いヨ と子供は怯えます

赤いよだれ掛け

赤い帽子のお姿のお地藏様は

主に子供用です

バカにして

カラスやスズメが糞をします

それでも怒らないの

石頭さん



奈良阪の石の仏※

ムシの命

人間の世界には病院がありお医者さんがいます
でも昆虫には何もありません

生きている時間が少ないので

病院に掛かっているひまがないのです

ムシの命が特に短い理由は

痛覚つうかくがないためだという学者がいます ※1

サボテンの葉にも心があるのにヘンです

いたずらに昆虫の足ちぎりトンボの羽をもぐ人は

一寸のムシにさえある心の痛覚を欠いている人です

昆虫の平均寿命は六ヶ月 ムシの命です

みんな余命のくらしです

二、三時間の夢を生きるムシの名はカゲロウです

この世でのムシの役割があります

わたしはムシに好かれる人になりたいと思い

あるとき夢の中でムシのお医者さんになりました

少しやつれたカマキリの奥様が見えました

おや いつもご一緒の御主人は

カマキリの奥様は恥ずかしそうに答えました

寂しいので昨日食べてしまいました

足のとれたバツタさんには

とりあえずマツチ棒をつけてあげました

ありがとうございます

でも マツチ箱の側面で足をこすらないで

火傷やけどしてしまうので注意しました

あなた達がいなくなればまもなく人類は滅ぶ

といった学者がいます ※2

それ以後この世からミツバチの集団脱走がおきています

ミツバチの平均寿命は六ヶ月ですが

女王さまは三、四年も生きておられるとか

ミツバチが顔を見合わせて呟きます

地球はたいへんだなあ

異次元世界は今菜の花が盛りです



いちめんなのはな※

トキワサンザシ

美しいものは赤い色をしている

朝日 夕日 血の色

枯れ枝ばかりの冬の景色の中で

小鳥を呼んでいるのは

サンザシの赤い実だ

サンザシの実は

小さなものが寄り添っている

幼いものや

弱いものが互いに

かばいあつている姿に似ている

美しいものを見ると

心があかるくなる

美しいものは

どこか悲しいものと似ている

朝から日が出ない一日があるように

人の世には悪い人がいたり

優しい人が病気になるったり

亡くなることがあるからだとおもう

サンザシの赤い実は

冬の景色の中で

どんな人も

希望を失わないように語りかけている



名前の呼び方

人様のお名前を呼ぶときは

様 をつけます

サン もありますが

クン は目下の人につける言葉です

同じ母親でも呼び方は階級によつて異なります

お母さまは上流家庭

お母さんは普通の家庭

母ちゃんは下のカーストで経済的その他低い家柄の種族で

私の母親がそれです

母ちゃんがいる家族の名前は全部ちゃんがつきます

父ちゃん

姉ちゃん

兄ちゃん

爺ちゃん

婆ちゃん

お が附く場合もあります

呼び捨てにしてもよいのは

自分より下の人や犯罪人や

何故か目の前にいない有名人達

時の政治家、文化人、著名人達と歴史上の著名人

徳川家康 リンカーン アインシュタイン等

それから親が子を呼ぶときは

この世界は急にフエイドアウトするはずで

まもなくフエイド・インしたあとと再会する人達がいます

ヨシオ！

私を見つけての最初に私の名を呼ぶのは

きつとモンペ姿の母ちゃんだと思えます

聖書の中で神様が呼び捨てにしている人がいます

ラザロよ ザアカイよ マリアよ

日本語でいえば 太郎よ 二郎よ 花子よ です

みな自分の子だと思っているからだと思えます



秩父金昌寺 慈母観音

田道門守(たじまもり)

毎日が苦痛と孤独に生きる人は

寿命がくるまえに自分からこの世を捨てる

だがこの世に快樂や楽しみが多い人は

今日が何時までも続くことを願う

寿命が来てもさらに時が続くよう

この世で権力を得た者はさらに不老不死の薬を探した

記紀ききによれば 田道門守たじまもりは ※1

垂仁すいにん天皇の命をうけ、不老不死に効く

《ときじくのかぐのこのみ》を探しに

常世とこよの国(中国南部からインド方面にあるとされた)へ旅立つた

海を超え異国の地に不老不死の木の実を探しにでた田道門守は

それから杳ようとして消息が途絶えた

九年後田道門守は宮廷に不老不死の実を持ち帰った

それは橘たちばなの木の実であつた(乾燥した実か種子)

因みに橘はミカン科であり、オリーブはモクセイ科であるが



葉が似ていること、香りが良いこと、柑橘類かんきつるいである

《ときじくのかぐのこのみ》は

おそらく垂仁天皇の側近たちが渡来人とらいじんから噂にきいた

【永遠の命】を説いたキリスト教のことである

キリスト教は四世紀初頭分派したネストリウス派により

東方経由とうほうけいゆで中国に伝えられ景教けいきょうとなった ※2

オリーブはキリストのシンボルである

《ときじくのかぐのこのみ》は生前の天皇には間に合わなかったが

誰も彼を咎める者はいなかった

彼は既に逝去せいぎよした天皇を嘆き悲しみ

食を絶ちその墓前で果てた

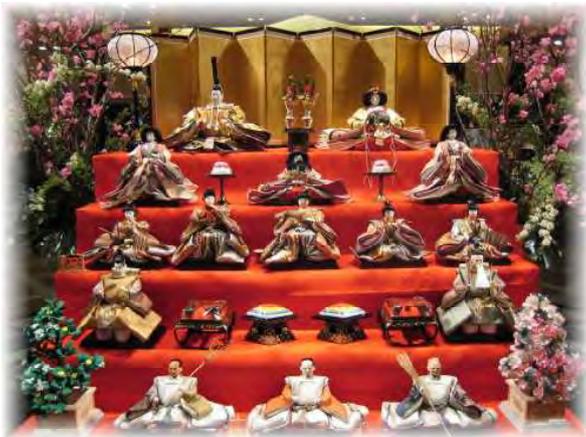
…この世の宝は虫や錆さび、盗難にあうだろう

大事な宝は天に置くといい …※3

田道門守は永遠の命を得たのである

皇室をかたどつた雛段ひなだんには

今も右近の橘、左近の橘が飾られている



両サイドにあるのが橘

満月

今宵は満月だ

しかも立春で縁起がいい

日が沈むと早速東の空に大きな月が現れた

まだ寒い季節でコートのエリを立てて背を向けたが

胸の中に満月が輝いた

忙しい人ばかりだが伝えたい

今夜は満月だ

ただ それだけのことだけど…

入院している人がいる

見舞いに来てくれるな というので行かないけど

どうしているかな

ともかく今夜は満月だと伝えたい

家庭不和で憔悴している人がいる

その人にも伝えたい

今夜は満月だよ

一晩中歌い踊る

アイヌの熊祭りはこんな満月だときく

海の中を桜色に染めるサンゴの

産卵もこんな満月の夜だという

大事な人を送り出し

満月を独り見ている人がいる

母の胸に抱かれ

この世で初めて満月を見ているみどりこ嬰兒がいる

誰も居ない部屋に

帰る道すがら思った

人間界に生まれてよかつた

今夜は朝まで満月だ



満月の夜のサンゴの産卵

人には あい

一人だと寂しいだけが

人が二人以上集まると あい が生まれる

あい の列車には上りと下りがある

待たずに乗れるのは下りだ

下りの あいは

とがめあい ならみあい そしりあい なすりあい

こづきあい おしあい へしあい 傷つけあい うばいあい

欺しあい いがみあい ひつかきあい 殴りあい 蹴りあい
…

そして終着駅は 殺しあい である

戦いは片方が全滅すると

味方が二つに分かれまた争いを始める

人の世は遊びでさえ二つに分かれる

それで昔から戦は絶えない



ドッチモ人形 オモテ

ひと昔まえ戦に破れたこの国に

チューイングムや映画と共に輸入された《愛》がある

これは性愛の別名であった

この国にはそのような《愛》が輸入される前から

慈愛 師弟愛 おもいやり なさけ ものあわれ など

高次元のものがあつた

仁である 仁の定義は …寛容にして慈悲あり…※1

聖書にもある通りで性別年齢国籍を超えたものである

心ある者には輸入品の《愛》という流行言葉は

恥ずかしくて口に出来ないものであつた

上り列車は階段の上のホームで本数が少ない

乗車できる人は

話し合い ゆずりあい 助け合い かばいあい なぐさめあい

いたわりあい よろこび合い…

何か一枚切符をもっている人である

人は あい がなくては生きられない



※2 ドッチモ人形 ウラ

早春

雪模様の日

いつの間にか蕾みが

枝先にほの赤く染まっているのを見たよ

蝶も蜂もないのに

黄梅が凍えながら咲いていたよ

年が改まり

日々日が伸びているけれど

幾つもの氷雨の日があり

雪の日があり

木枯らしの日が続いている

苛められている子を見たよ

一人で来て犬の頭を撫でている子を見たよ

群れから外れている子供を見たよ

寂しい大人を見たよ

若い女がいて 老いた女がいて

店の隅で一人で座っていた

心が冷えてしまったので

みな冷たい目をしていた

カウンターで一人で酒を飲んでいる男を見たよ

背が屈みはじめた男だった

振り返ったら見知らぬ白髪の人だった

亡くなった人の噂を聞いたよ

ある人が無事退院したという電話があつたよ

桜が咲くのはまだ先のことだけど

今年もまたこの人の世に春が来て

片方の手袋が落ちていた

挨拶をしたのに黙っている人がいた

日当たりのいい塀の下に

小さな花が咲いているのを見たよ



名前が分かりません。教えて下さい

こちゅうてん
壺中天

曇りの日

散歩の足を止めた

自分が壺であることにフト気づいたのである
どうりで…

壺の中には何も無い

全ては壺の外にあつたのだ

壺になるまえに長い歳月があつた

風で空に舞い上がったことがある

木の根から吸い込まれ葉となり

花となつた事もある

寒風のなかさなな蛹は蝶の夢を見ている

蛸は壺の中で息をひそめ

人は生きているあいだ家の中で思索するが
骨になつてからは誰も来ない壺の中に住む



こころ
壺公(仙人)が自分の家だと案内した金殿玉楼も ※
しよせん
所詮大きめな壺にすぎない

元を正せば自分は土であり

その前はマグマの一片であり元素であつた

夢の中では何でもできると

気がついた子供の頃

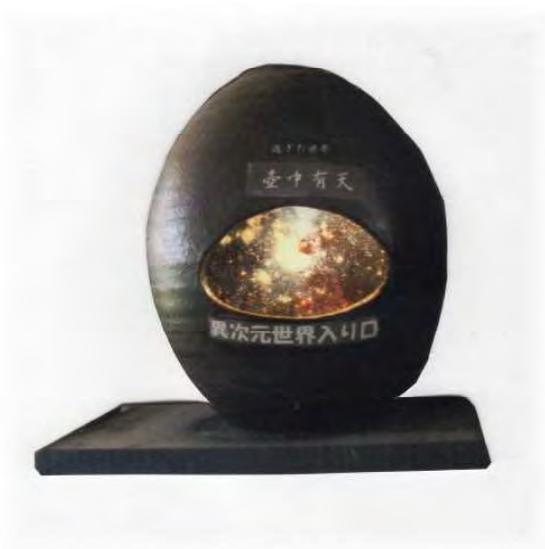
これは夢だ!と夢の中で叫んだ

誰かが大笑いしたのを今も覚えている

短い夢が覚め

壺が四散すると

私は銀河の中にいた



好相行こうそうぎょう

聞くところによれば

比叡山には三つの厳しい修行がある

その一つに一二年籠山行ろうざんぎょうがあり

その中の必須科目ひつすかもく【好相行】はあまり知られてない

それは無期限で一日三千回五体倒地ごたいとうちの礼拝を繰り返す

《絵に描かれた仏さんではなく

目を開けても閉じても見えない三次元で光を放つ姿で

実在の【神仏を見る】※まで《続けるのだ

早い人で三ヶ月 五体倒地三〇万回以上

煩悩ぼんのうの多い人ほど期間がかかり

命を失う者も二〜三割いる

(命を失った者は次の世で神仏に出会うのかも)

途中 ドクターストップを経て三年かかり 平成九年二月四日

百数十万回の五体倒地かんとくの結果感得かんとくされた方がいる

《…好相行は苦しいだけではない。

体の奥から泉のように止めどなく湧いてくる強烈な喜びがあるんです。

屋根でも 床でも 草木でも 目に映る全てのものがキラキラ輝き
宇宙と一体になるような感覚です…》

普通人間は過酷な経験をするそれが顔に出て怖い厳しい人相になるが
戦後六人目の満行者まんぎょうしやとなった方はそういう姿をしていない

その方のことばです

すべての人間がこのような修業をすることはない

それぞれの場で、感謝し、その日、その瞬間を生き切る事が肝要

やがて同じ所に達するであろうとその方は言っています



延暦寺龍院住職

宮本祖豊師

思い通り

始めに心があつて

心が形を作る ※

椅子も机も

始め心はその原型がある

郵便ポストが赤いのも

キリンの首が長いのも

飛び魚が空を飛んだのも

だから誰でも幸せになりたいと思えばそうなる筈です

ただ その時間が短い場合と永い場合がある

現在いまは太古と違いワンタッチで

火がついたり水が出たりするが

思いが叶うには一年かかる場合もあり

一生かかる場合もあり

世代を幾つも重ねないと叶わない場合もある

忘れていましたが約四億年前

北斗七星の形も柄杓ひしやくではなかった

古生代シルル紀 私は魚でした

それから人間になるまで

様々な生きものをやってきた

冥くわいいトンネルの中くわいのことは何も思い出せない

輪廻りんねてんせい転生は仏教以前に

受精卵から出産まで十ヶ月の胎内で再現されている

私が私でなかった魚の時

私になりたい と思ったのは何故だろう？

海イグアナは何故こんな姿なのか

海藻を主食とするまでの苦難の歴史を思い

険悪な目つきでガラパゴスの海を見ている

貴方はいつか人間になりたいと

思っていますか？



海イグアナ

草食動物です

天上天下唯我独尊

天下はこの地球です

その地球で自分が一番エライ とは

言い過ぎではと 思っていました

謙譲けんじょうの美德という 言葉があります

いくらエライ人でもそこまで言うか

クシヤミをしたとたん気がつきました

菩提樹の下で長い間座禅し朦朧もうろうとしたお釈迦様は

何故か この世界に 一人 自分が ある

その不思議さに！ ビックリしたのです

でもあれだけ高貴な生まれの賢い方が驚いたのは

それなりに納得できます

お釈迦様以上に驚いたのは私です

大きな会場で功績のあつたものが

次々とよばれその栄誉えいよが讃えられるのを

遠くから感嘆して眺めている乞食姿の者が

急に呼ばれたら 驚愕するでしょう

人間ばかりではなく愕然がくぜんとした者達ものたちがいます
蛙やドジョウです

自分は何で蛙なんだろう！

蛙は急いで古池に飛び込みました

ドジョウは急いで泥の中に潜り込みました

ふさいでいる耳に聞こえてくる優しい言葉やさしいことばがあります

…あなたは

とくに賢くもなく 美しくもなく 力強くもなく

何の役にも立つこともなさそうで ただ 一つあ在ります

…

木陰にまだ雪の残る早春の朝

庭先で一輪梅の開花音がしました

馥郁ふくいくとした香りが部屋まで届き

目を覚ました人がいます

天上天下唯我独尊

この世界にただ自分が在る事は不思議です



満開

自分を呼ぶ声に

種子は目覚めた

地表に出た芽は急いで

声の主に葉を広げた

植物は地面に縛られているようだが

根はデリケートなアンテナだ

絶えず地球と会話をしている

マグマの鼓動 波の音 眠りについた者達の夢

空に伸ばした枝は千手観音せんじゆかんのんの手

小枝はしなやかな指

植物は風と話し

葉は雨や光を受けながら

昼は太陽や雲たち

夜は満天の星たちと話し

地球や星の世界を知っている

アガステイアの葉は ※

地上の全ての人を

太古から続くこの世界を知っているという

私は一本の桜です

今日は満開の日

全ての枝に花を飾りました

これが冬の日考えていたことの結論です



予知夢

日曜日の朝フト気づいた

そうだ 天国は晩春の休日と似ている

眠いの^に時間で起きる^{こと}はない

予定は何もない

どこも痛い^{ところ}はない

窓辺でしきりと小鳥が話している

どこかで会った親しい者と

野原を歩きながらしばらく話していたが

振り返ると小鳥になって飛んでいつてしまった

私、誰だか分かる？

飛んできた蝶が

人間の形になつてニツコリ笑う

そうだ 子供の時片思いの人だ

思い出してくれて有り難う と

その人はまた蝶になつて飛んでいつてしまった

大きな石になつて居眠りをしていると

その上で子供たちが遊んでいる

私は牛になつて歩き出す

やがて私は龍に変身している

喚声を上げる子供達と虹をくぐり抜ける

この世界は可笑しい

私より若い母がいて父がいる

それを言うと二人とも笑い転げる

水晶玉を眺めると懐かしい地球が見える

まだ生きている自分がいる

かなり老齡になつて

何か薬を飲みながら時々足腰をさすつている

もう少しだ 頑張れや



古民家

道祖神どうそじん

曲がり角は三つ以上教えられると

分からなくなりますが

凡およその見当けんとうで歩いて行くうち

恥おそずかしながら又分からなくなつて尋ねる

時には元の道に戻つて

同じ人に道を尋ねたことがある

耳を澄ませば土の中には水の道があり

植物には根つこの道がある

仰おほぎ見れば天空にも星座が一巡する黄道おうどうがある

帝星ほうきぼしの故郷はへオールの雲うみと云いい ※

太陽系の百倍も果ての山奥だという

この世界は皆何処かに急いでいる

太古、人の歩く道は獣道けものみちと同じだった

アスファルトで整備されていても

人は今も獣道を歩いている

道路には数え切れない程標識がある

違反すると前世獣だつた者が物陰から現れ

いい人でも悪い人でも見境なく捕え

牢屋に入りたくなければカネを出せという

大勢の人が通る道があり

少数の人の通る道がある

パレードがあり葬儀車が通る

やがて海や崖で途絶えてしまふ道もある

途中で引き返した方が良い道もある

昔は村境の道端に道祖神がいた

路傍の神は年寄り夫婦の姿をして

迷つた者に道を教えてくれた



子供は無邪気だからと言われるが

邪気は子供の頃からある

四、五人の仲間達に非難され

群れを離れてしょんぼり歩いている子供の姿を

何度も見ている

(私の家は小学校の入り口にある)

殴られても殴り返すことのできない人がいる

相手が自分より大きかったり

大勢だったりする場合である

自分が正しくても反論できない場合がある

対等に会話が出来ない場合である

個人間、社会間、国際間に昔から続いている類人猿の伝統である

これは暴力団と善良な市民とか

時代物の庶民と悪代官の構図でなく

キリストに極刑を言い渡した二千年前の法廷は

今も続いている厳粛な事実である

テレビの娯楽番組では悪人は悪人顔をしているが

現実のドラマでは善人も悪人もメイキヤップはしていない

さらに悪人に見えないのは悪いと思つてはいないからだ

正直な肉食獣は豹も蛇も鮫もそれらしい面構えつらがまをしている

子供達は無邪気で

今日も賑やかに家の前を通り過ぎる

今のところ悪人の顔をした者は一人もいない

ただいま 元気よく帰ってきた我が子迎える

父も母もよその子をいじ苛めてきた

我が子を今日も笑顔で迎える

小鳥を食い殺して帰つて来た可愛い飼猫の

口の廻りに血痕を見つけたのは難しい



成りたいもの

子供の時から優柔不断であった

駄菓子屋で小銭一つであれも少し、これも少し、と迷った

大きくなったら何に成りたいか

その問いにはいつも困惑した

何か一つになつてしまつと

他のものを失うことになる。欲ばりだつたのだ

昔から写真嫌いだった

そこにいる自分に不満があつたからだ

今でも自分を納得していない

容姿も健康状態も気に入らないが

ギリシャ神話の男の姿も断りたい

人前でパンツもはかないなんて恥ずかしい

名刺はあるがそれが自分だとは思っていない

幾つか資格や肩書きがあるが

恥ずかしながら猪八戒の変化の術一つに及ばない

仮に格闘技やスポーツで世界一になつても

黒豹や灰色熊やシャチには敵わない

偉人や聖人もその忍耐や努力を思うと堅く辞退したい

妖怪達の変化の術一つあれば悪人を退治できる

テレポテーションと念力一つあれば

ヒーローになつて神出鬼没世界中飛び回りたい

でも、世界に悪人が一人もいなくなつて

病人もいなくなつたら

スーパーマン達は退屈で死にたくなるだろう

その時は自分が鬼になつて鬼ごっこを始めよう

何時までも自分でいたい者は

銅像や石像やミイラになる

夜更けの公園に佇たっているのは寂しい

在つたり 無かつたり 自由なのがいい

春のそよ風や ポツカリ雲がいい



うつろふね
虚舟で逢いたい方

宇宙人は昔から地球にきているという

ピラミッド作りを手助けしたり

ナスカで地上絵を描いたり

最近では世界各地でミステリー・サークルを描いている ※

日本には江戸時代北茨城市に虚舟で来訪している

その宇宙人に頼みたい事がある

火星ではなく一日過去の時代に案内して貰いたい

江戸末期の橘曙覧(たちばなの あけみ)に逢いたい

初対面だけど気が合いそう

この方は幸いお酒が好きそうなので

お土産にはお酒とおつまみと

家族の方には唐草模様の風呂敷一杯

百円ショップで積み込もう

ボールペン、ノート、ライター、充電式のLEDライト

みな喜んでもらえそう

木戸で挨拶は「お頼み申す」かな



言葉はほぼ通じるだろう

「私は貴方のファンです。一六〇年後の世からきました」

奥様も子供たちもビックリするだろうな

親しい方が居るようなのでよかつたら呼んで貰おう

友達の友達はみな友達だ(多少例外もあるけれど)

五人家族の家だから大勢だと迷惑だ

天気の良い晩春か初秋の十時頃がいいかな

庭先にむしろを敷いて貰おう

誰と行こうかな

時空を旅する虚舟はカプセル型の小型UFOだ

定員は三、四人までだろう

ご希望の方いますか

この方は平凡なぐらしの中に幸せを見つける特殊才能があり、

明治時代の歌人正岡子規が万葉集以後最大の歌人と賞賛した方です

○たのしみは妻め子こむつまじくうち集かい頭かしらならべて物を喰うとき

○たのしみは朝起きいでて昨日まで無かりし花の咲ける見るとき

○たのしみはとぼしきままに人あつめ酒のめ物を喰えと言うとき



コミュニケーション

凶悪な者、愚かな者と話すのは

野獣と会話するより難しい

聖フランシスは狼や小鳥と会話し

少女「ティツピ」はライオンと眠る ※1

アメリカのある女性動物学者は怒るクロヒヨウをなだめた

ケビン・リチャードソンはライオンと会話した

人の世に争いは絶えない

バベルの塔が崩壊したのは

突如言語が通じなくなったためというが

同じ言語でも争いは絶えない

神や宇宙人がいるなら何故TVにでない！という意見がある

尤ももつとそんな意見だが本当だろうか

一人一人の心が変らぬままでは

それは急速に忘れられていくワイドショーに過ぎないだろう

賢い宇宙人ならそんな番組には出ないと思う

ラザロよ アーナンダよ 子路よ ※2



聖人達はみな国会ではなく一人一人の心に語りかけた

「分かりました」というのは

会話の限界が見えたという意味で使う場合が多い

言葉がなくても通じる世界がある

PC用語でいえば

その世界にアクセスできるツールがある

言葉以外のものがある

様々な自然の造形物 人の描いた絵

様々な自然の音 音楽

匂いがある 花の香り 果物の香り 潮の香り

動きがある 人の作ったものに舞がある

人の気配 人以外の気配



追補^{ついでほ}

男のおしやれ

6頁 ※ 聖書 山上の垂訓^{すいくん} 最後の行

喜べ 喜べ この世で報われない報酬は後の世になるが、それはそれは大きな報酬になる

第二次大戦中の特攻隊の二階^{にかい}級特進^{きゅうとくしん}どころの比ではない

お地蔵様

8頁 ※ ならさかの いしのほとけの おとがいに

こさめながるる はるはきにけり 会津八一

ムシの命

9頁 ※1 昆虫には痛みを感じる中枢神経である「痛覚」が無いという説がある。

人間には確かに無神経な人がいますが虫はどうでしょう。

一応、スタンフォード大学の暇な研究生の報告となっています。

10頁 ※2 「ミチバチが絶滅したら人類は四年以内に滅びる」とアインシュタインが警告した。

(アインシュタインの名を騙^{かた}つて、その信憑^{しんぴょうせい}性は疑問視されているが各地でミツバチの大量の消滅が報告されている)

※2 いちめんなのはな いちめんなのはな… 山村暮鳥 イラスト有断借用

田道門守(たじまもり)

15頁 ※1 記紀^{きき} 古事記、日本書紀の総称



16頁 ※2空海は入唐時(803年)仏典の他に景教を学び灌頂(頭に灌ぐの意でキリスト教の洗礼を受けている。

洗礼名【遍照金剛】
へんじょうこんじょう

※3 マタイ伝6:19-21

…宝を地に積むな ここは虫と錆どが損い 盗人ががち損うなり…

宝を天に積みめ かしこは 虫と錆どが損わず …

人には あい

20頁 ※1 コリント人への前の書一三章 4

愛は寛容にして慈悲あり、愛は妬まず、愛は誇らず、驕らず、非礼を行わず、己の利を求めず、憤ほらず、人の悪を念はず、不義を喜ばずして、真の喜ぶところを喜び、凡そ事忍び、凡そ事耐ふるなり…

※2 ドツチモ人形 トチの実で人形を作っているうち、失敗作を活かす為に作りました。

裏返すと別の顔がある人形です。

壺中天
こちゆうてん

23頁 ※ 後漢書 「方術伝」 5世紀
ごかんじよ ほうじゆつてん

好相行

25頁 ※ 他宗及び宗教外の科学者でほぼ同じ体験をしている人がいます。

思い通り

27頁 ※ 「心は形を求め 形は心を求める」と言う言葉があります。

形からも心は生まれるのかも。ピノキオは形から生まれ、名人が描いた魚や鳥は紙から抜け出していました。描いた人が心を込めて描いたから生きてしまったのだ。一休さんは絵に描いた虎を追い出せば捕まえる、と豪語したが、名人が描いた虎の絵だったら大変なことになった。そもそも人間の始め



は。ヒノキオと同じで粘土をこねて形を作り、神が息を吹きかけて作ったことになっています。

満開

32頁 ※ アガステイアの葉 インドの聖者アガステイアが太古に残した個人の運命に関する予言。ヤシの葉に記録されている。

道祖神

35頁 ※ オランダの天文学者。ヤン・オールの仮説。太陽系と他の天体との重力の中間地帯。

一万天文単位から十天文単位(1.58光年)このゾーンを《オールの雲》といい彗星の故郷とする。

オールトは偉大なる天文学者であるが天文学は面白いだけなのでノーベル賞は対象外とか。

虚舟で逢いたい方

41頁 ※ ミステリー・サークル 穀物が円形に倒される現象。英国ではクロップサークルとい

世界各地に見られる現象。宇宙人から地球人に対するメッセージと言われている。

コミュニケーション

43頁 ※ 1 フランスの写真家の子供。1960生。アフリカのナミビアで少女期の10年間を野生動物と共に育てた。

※ 2 ラザロ 聖書。アーナンダ シヤカの弟子。 子路 孔子の弟子。



※ 題名第二ステージ・春の意味。六十歳で還暦（リターン）。

六十一歳は節分で無理して豆を六十一ヶも食べることはない。

還暦後は第二ステージとなる。私は今年の節分に豆を十八ヶ食べて第二ステージ十八歳になる。
数年後にまた成人式を迎えるのです。第二ステージの春を生きています。



詩画集「第Ⅱステージ春」

発行所 手作り出版社

蓮田市黒浜3111の2

平成二十七年四月 花盛り

やまのうえの
山上 むらひと
村人

戸籍名 大畑 善夫